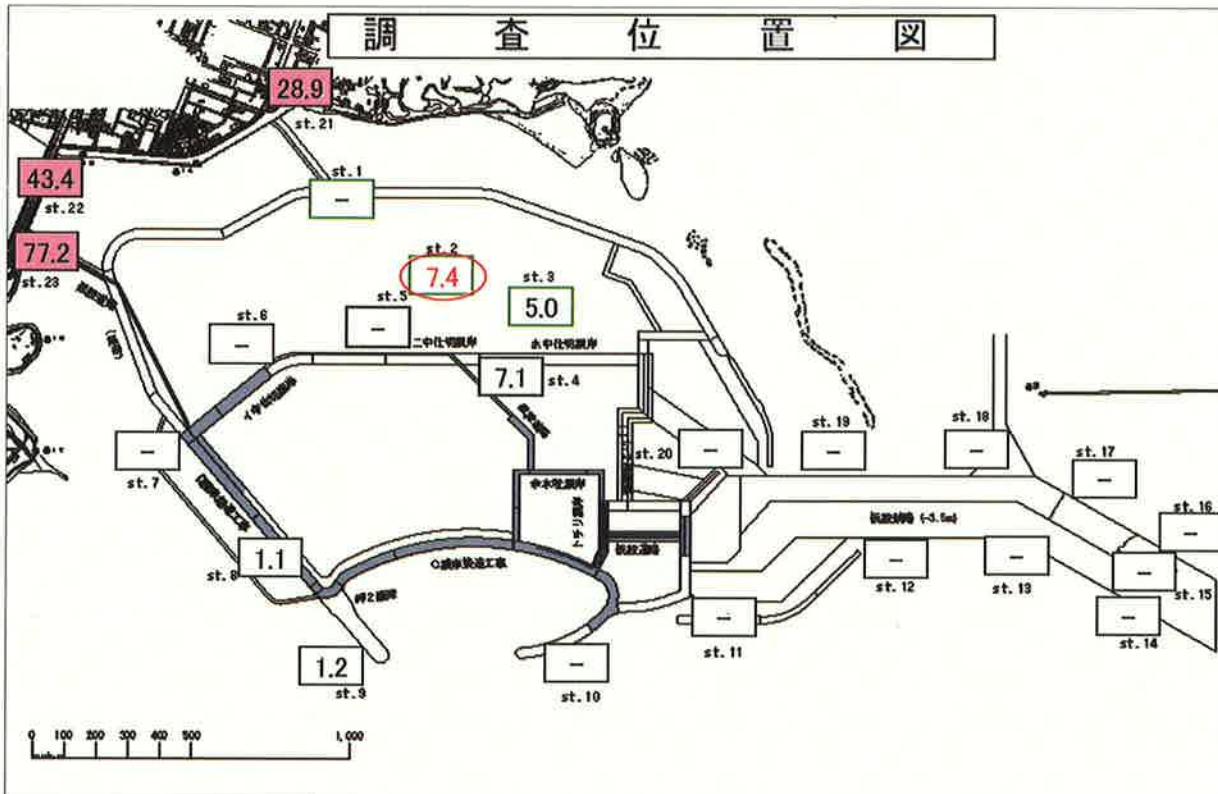


数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 4 日 (水) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	N	1 ~ 3	上げ潮	



- st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
- 濁り(SS)監視基準
- クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L
 - 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点

工事の状況	イ中仕切工事	・裏埋材投入・均し
	D護岸工事	・石材均し

数値基準を超過した調査区域の状況

St.2付近においては流入部と同様な濁りが見られた。

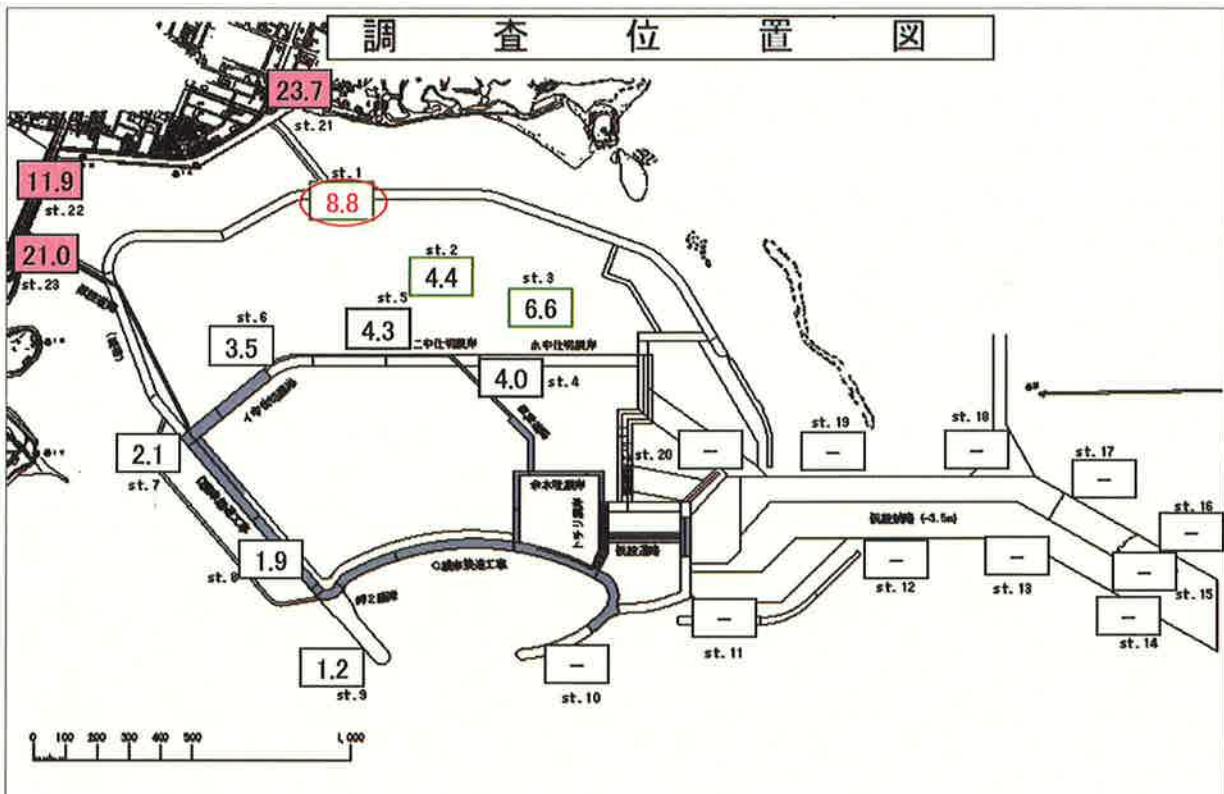
評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は正午前後に強い降雨(10時～12時で49mm)があり、St.2の塩分濃度も低いことから流入部からの流れ込みが影響していると考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 11 日 (水) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	SSW	4	下げ潮	



- st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
- 濁り(SS)監視基準
- クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L
 - 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
 - (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	・裏埋材投入・均し
	D護岸工事	・石材均し

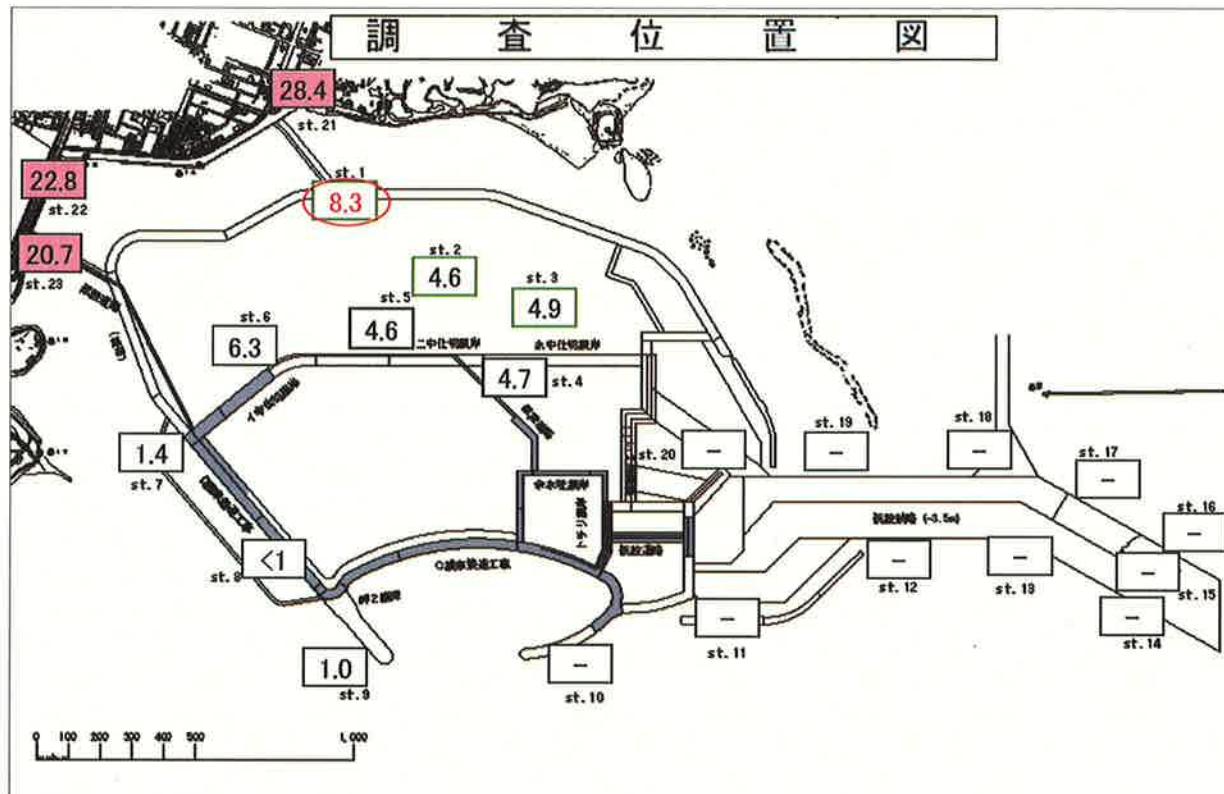
数値基準を超過した調査区域の状況
St.1付近においては水深が浅く南南西からの強風がみられた。

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 調査地点の水深は浅く(0.6m)、南南西の風が強かったことから、風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 16 日 (月) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	S	3	上げ潮	



- st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
濁り(SS)監視基準
- | | | |
|--|----------------|--|
| □ クビレミドロ監視地点 | st.1～3 7mg/L | ○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点 |
| □ 工事の濁り監視地点 | st.4～20 11mg/L | ■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
(st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。) |

工事の状況	イ中仕切工事	・汚濁防止膜設置
	D護岸工事	・石材均し、裏埋材投入・均し

数値基準を超過した調査区域の状況

St.1付近において白濁が見られた。

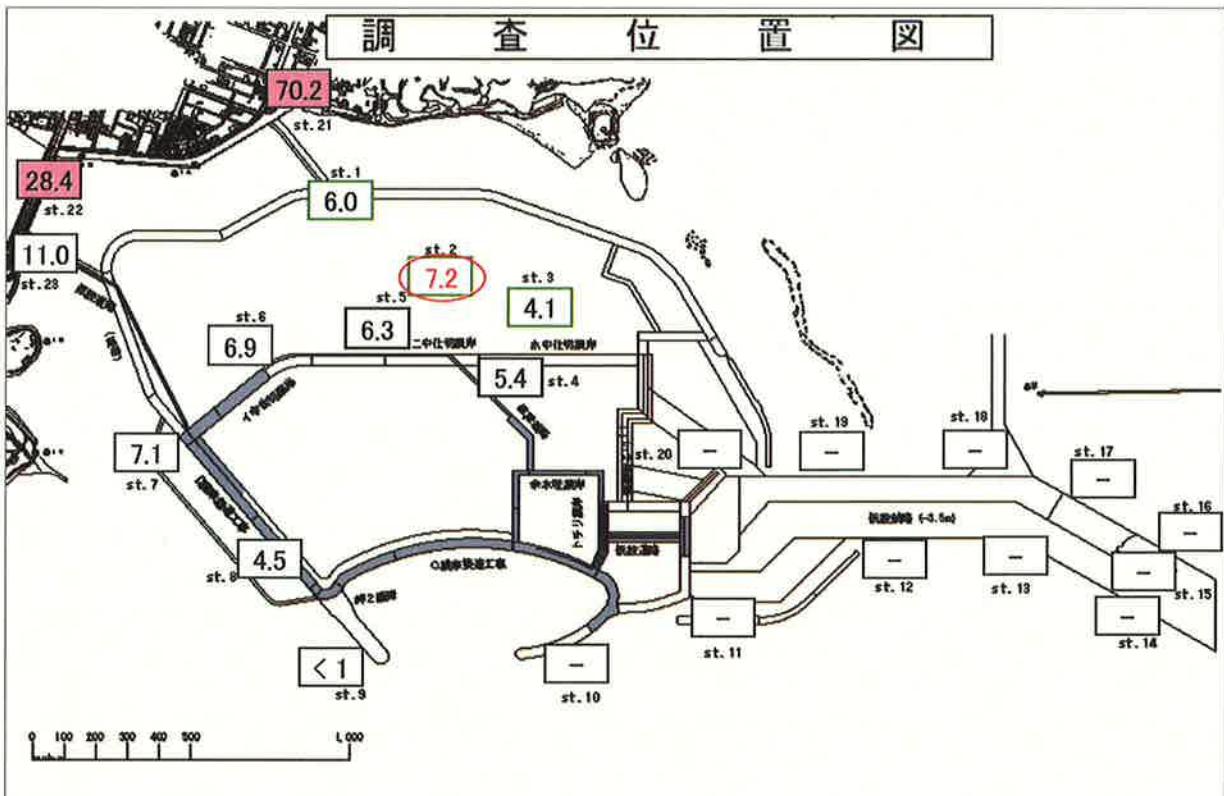
評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。
調査地点の水深は浅く(0.6m)、南の風が強かったことから、風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 18 日 (水) 10:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	S	2 ~ 3	下げ潮	大潮



濁り(SS)監視基準

□ クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L

○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点

□ 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L

(st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点

工事の状況	イ中仕切工事	・汚濁防止膜設置
	D護岸工事	・裏埋材投入・均し

数値基準を超過した調査区域の状況

干潟域において白濁が見られた。

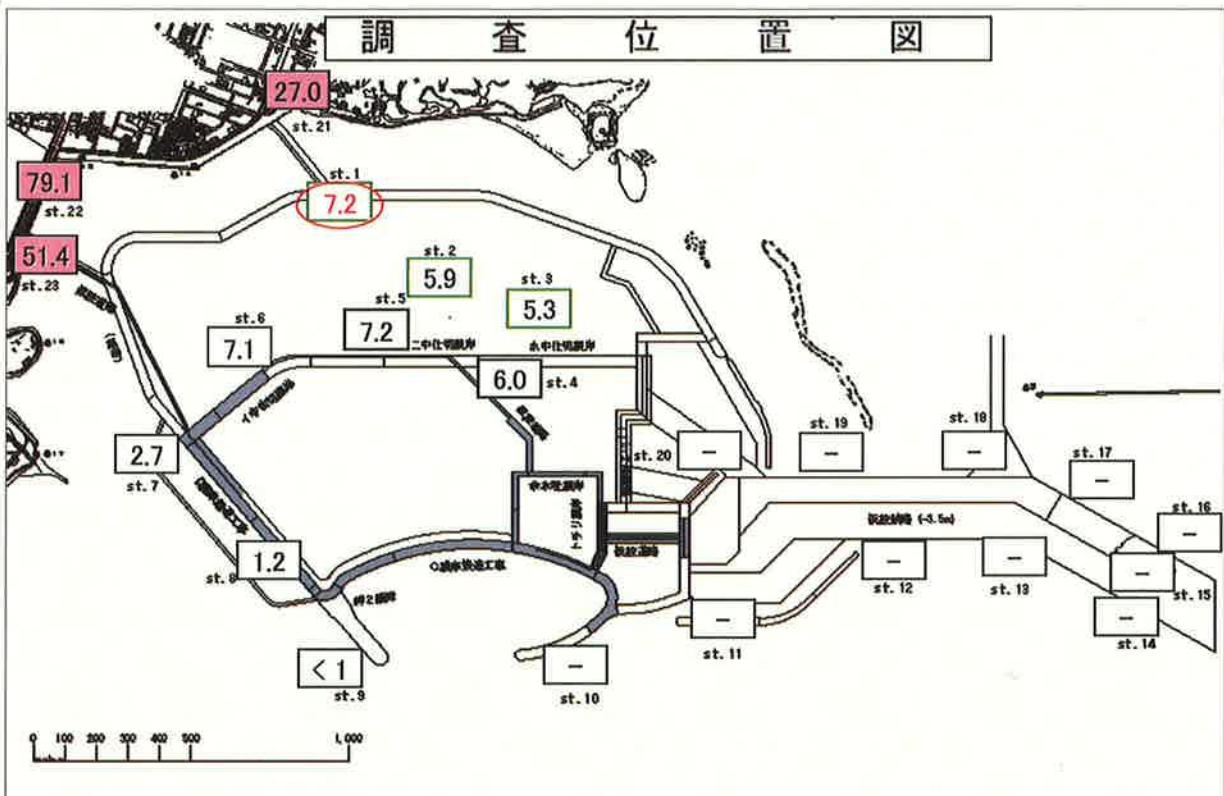
評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。
調査地点の水深は浅く(0.7m)、南の風が強かったことから、風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 18 日 (水) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	SE	3	上げ潮	大潮



st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
 濁り(SS)監視基準
 ■ クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L ○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 □ 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L ■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
 (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	・作業はなし
	D護岸工事	・裏埋材投入・均し

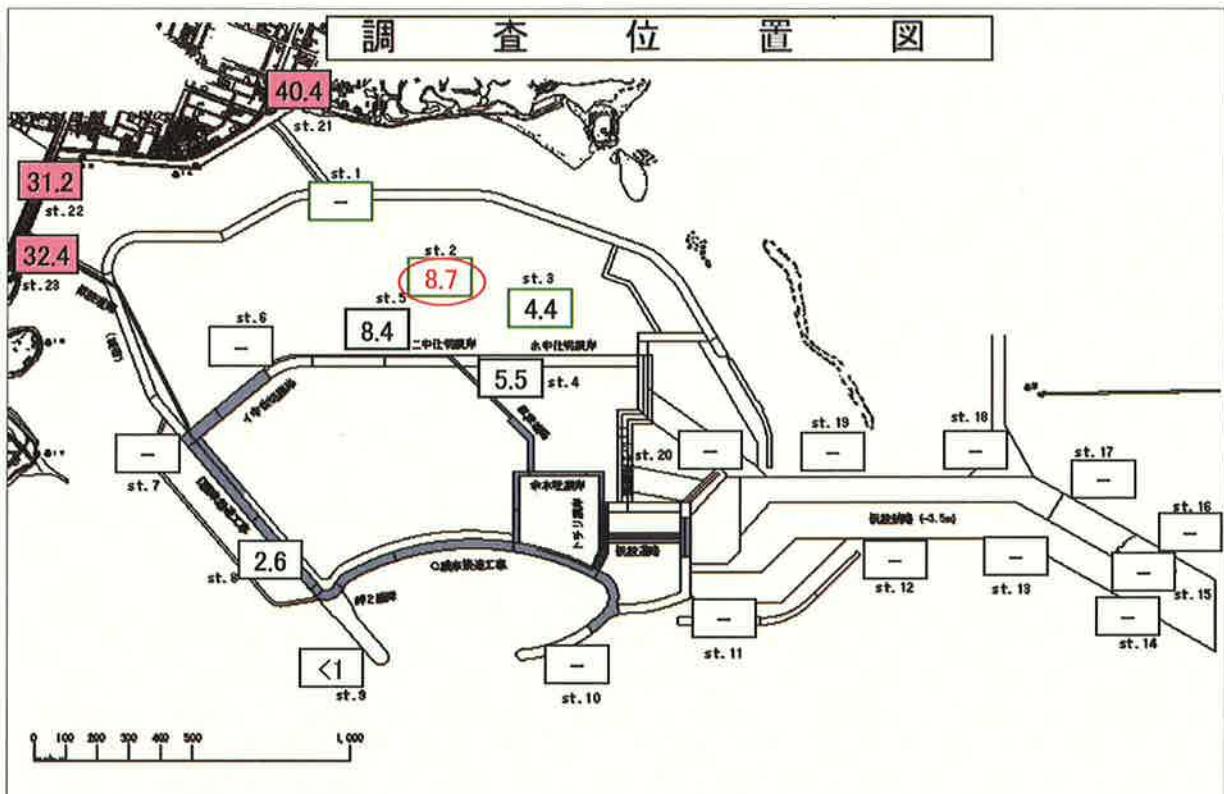
数値基準を超過した調査区域の状況
干潟域において白濁が見られた。

評価
基準値を超過した地点付近の作業は行われていなかった。 陸域(st.21～23)から高い濁りが確認されていることから、この濁りが拡散し基準値を超過したものと考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 23 日 (月) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	SSE	3 ~ 4	下げ潮	



st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
 濁り(SS)監視基準
■ クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L ○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
□ 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L ■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
 (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	裏埋材投入・均し
	D護岸工事	裏埋材投入・均し
	二中仕切工事	裏埋材投入・均し

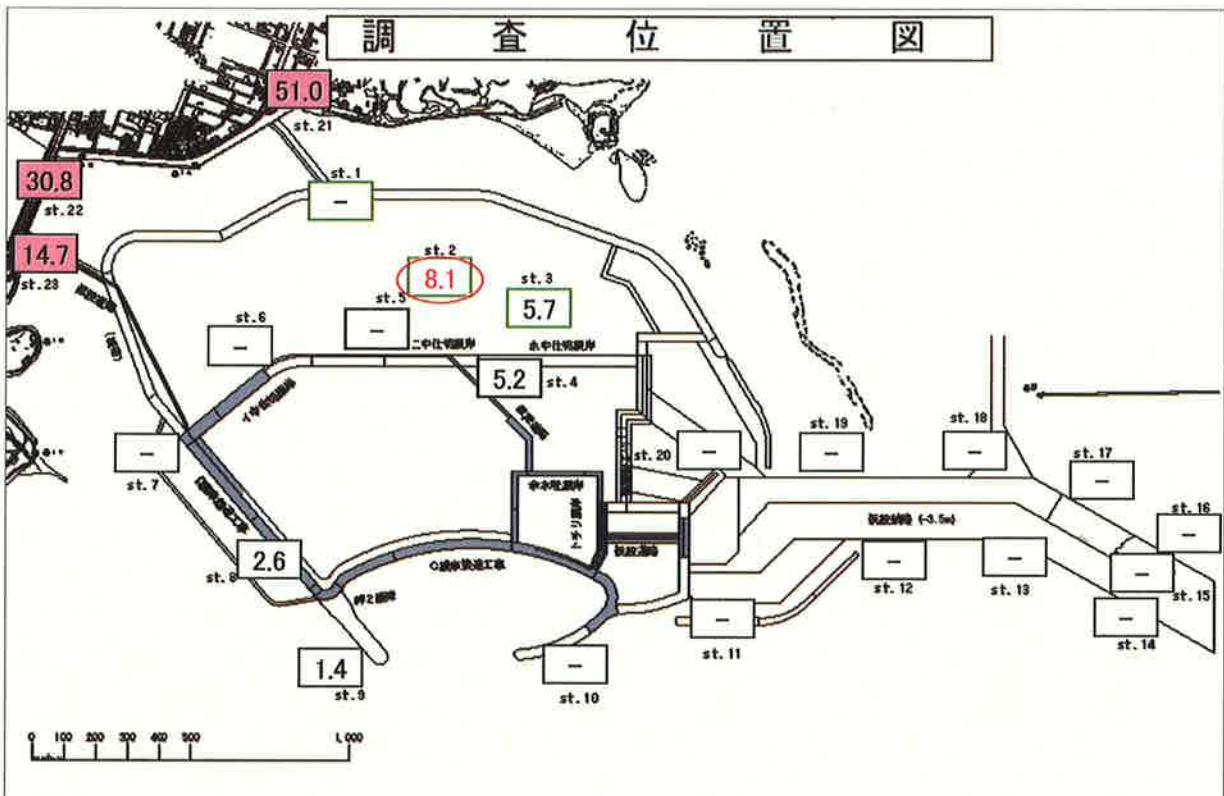
数値基準を超過した調査区域の状況
St.2付近において白濁が見られた。

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 調査地点の水深は浅く(0.5m)、南南東の風が強かったことから、風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 24 日 (火) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	SW	3 ~ 4	下げ潮	



st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
濁り(SS)監視基準
□ クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L ○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
□ 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L ■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
 (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

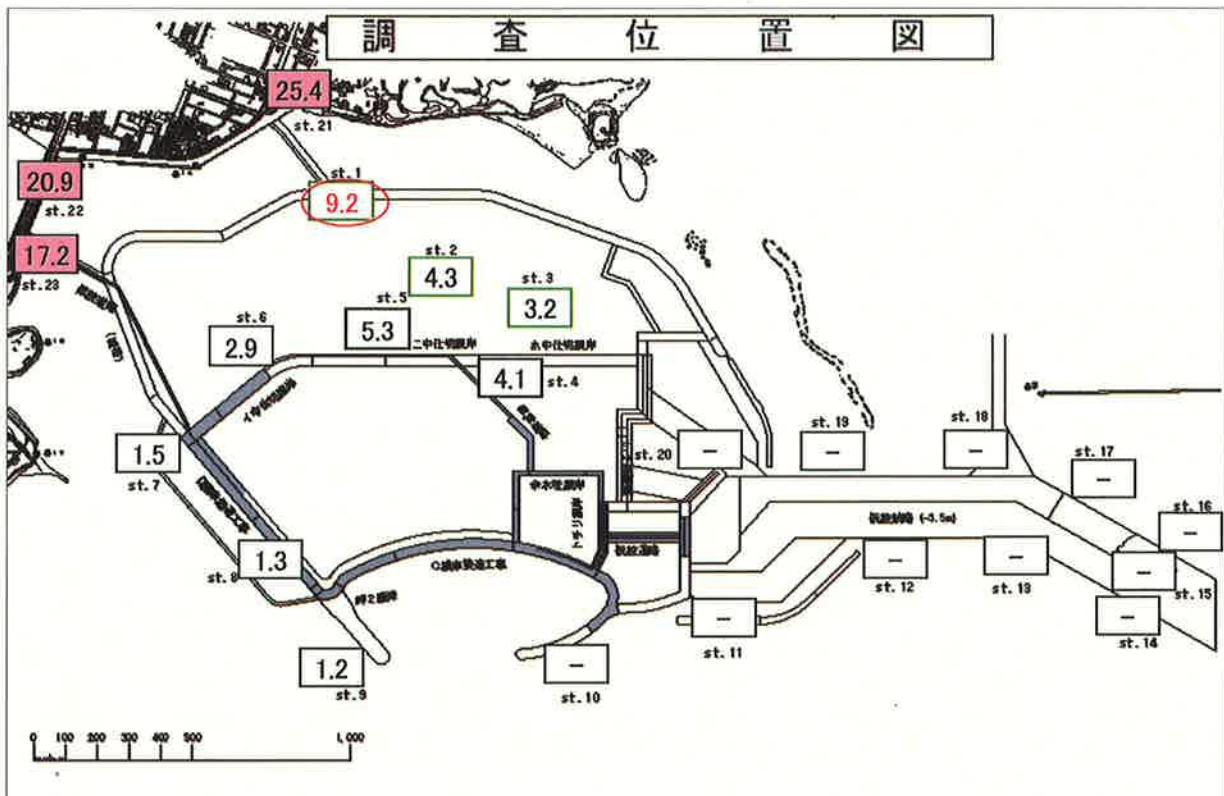
工事の状況	イ中仕切工事	裏埋材投入・均し		
	D護岸工事	裏埋材投入・均し		
	二中仕切工事	裏埋材投入・均し		
数値基準を超過した調査区域の状況				
St.2付近において白濁が見られた。				

評価
工事箇所に近いSt.5は干出のため測定できなかったが、補足として工事に近い場所で計測した値はSSで6.8であり、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 調査地点の水深は浅く(0.5m)、南西の風が強かったことから、風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 25 日 (水) 10:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	WSW ~ W	2 ~ 3	上げ潮	



st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
 濁り(SS)監視基準
□ クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L ○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
□ 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L ■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
 (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	裏埋材投入・均し
	D護岸工事	裏埋材投入・均し
	二中仕切工事	裏埋材投入・均し

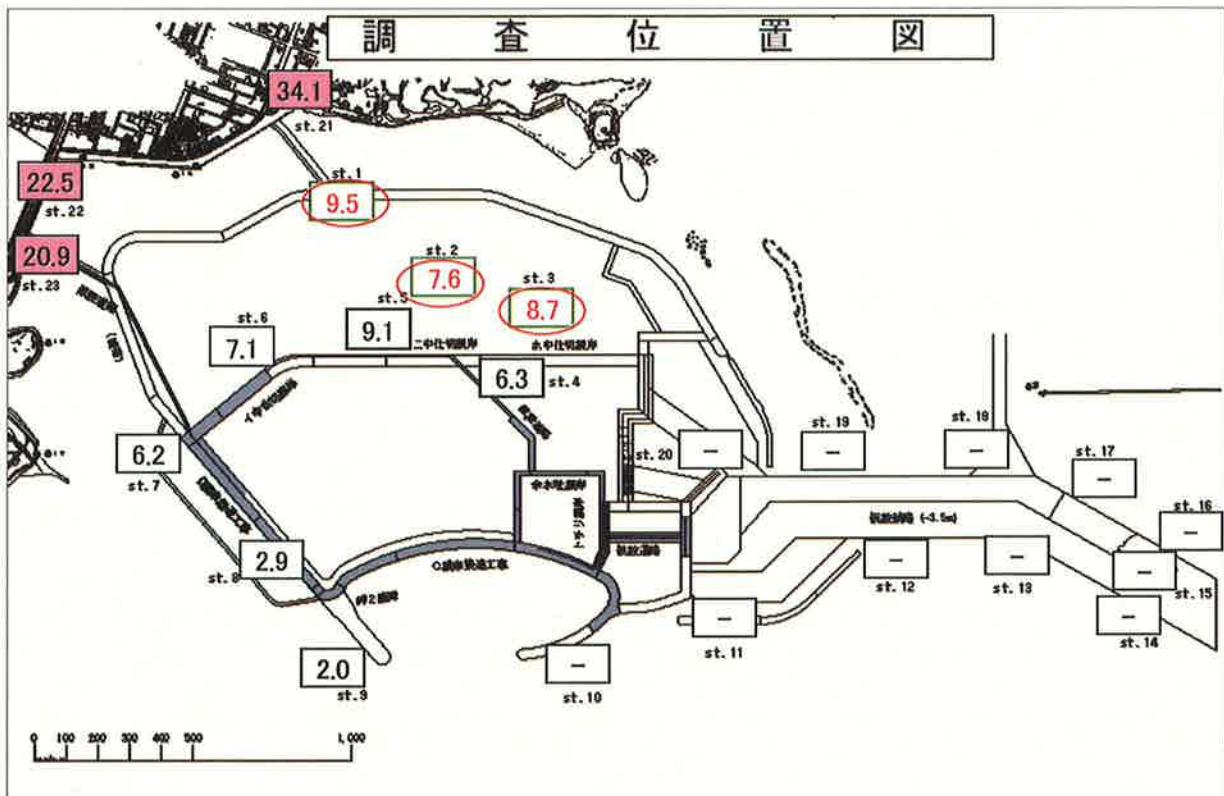
数値基準を超過した調査区域の状況
St.1付近において白濁が見られた。

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 前日の降雨(胡屋観測所のデータはなし)によって流入部から濁水が流れ込み、滞留したことが影響していると考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 25 日 (水) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	曇~小雨	W ~ SSW	3	下げ潮	



- st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
 濁り(SS)監視基準
■ クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L ○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
□ 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L ■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
 (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

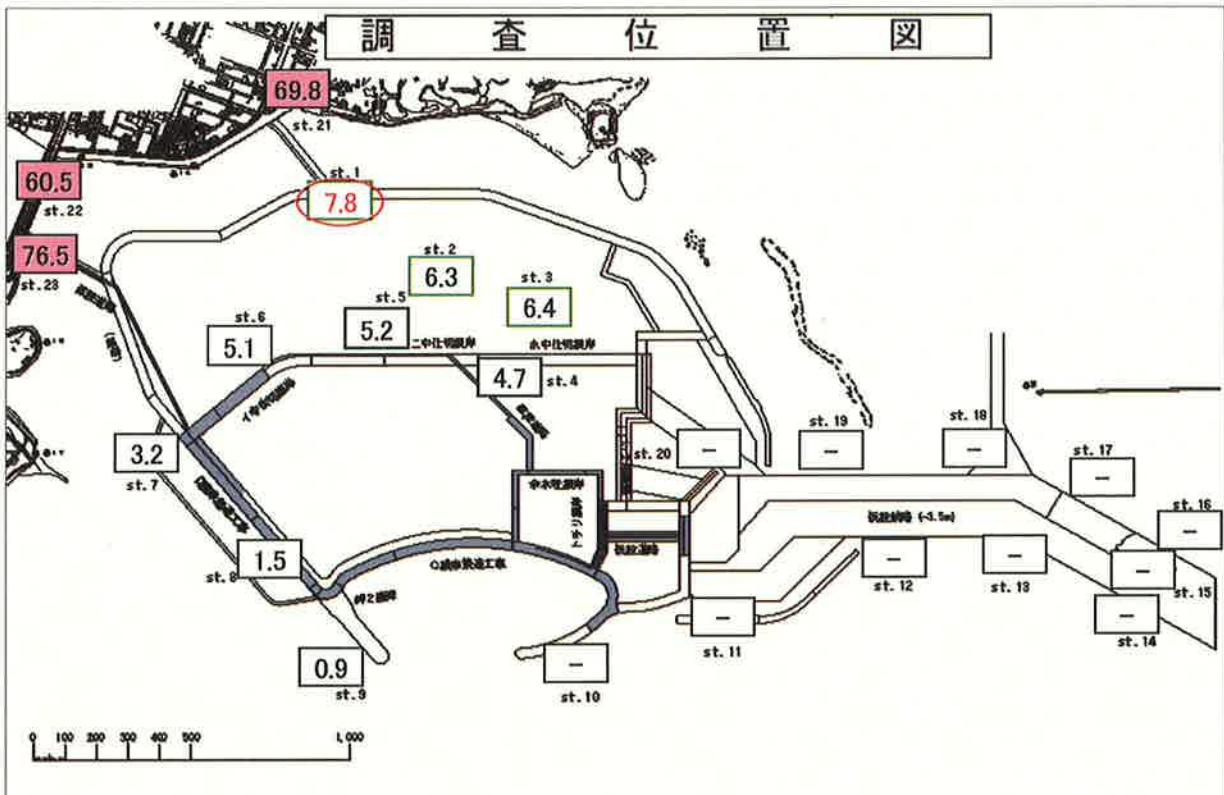
工事の状況	イ中仕切工事	裏埋材投入・均し		
	D護岸工事	裏埋材投入・均し		
	二中仕切工事	裏埋材投入・均し		
数値基準を超過した調査区域の状況				
St.1～3付近において白濁が見られた。				

評価
補足として工事に近い場所で計測した値はSSで3.7であり、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。
調査地点の水深は0.6～1.7mであり、西ないし南南西よりの風が強かったことから、風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。
また、調査時間帯が下げ潮時にあたった為、陸域(流入水路部)からの濁りが広く監視地点付近まで影響したのも、ひとつの原因と考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 26 日 (木) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	雨	W ~ SW	2 ~ 3	下げ潮	



- st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
濁り(SS)監視基準
- クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L
 - 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
 - (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

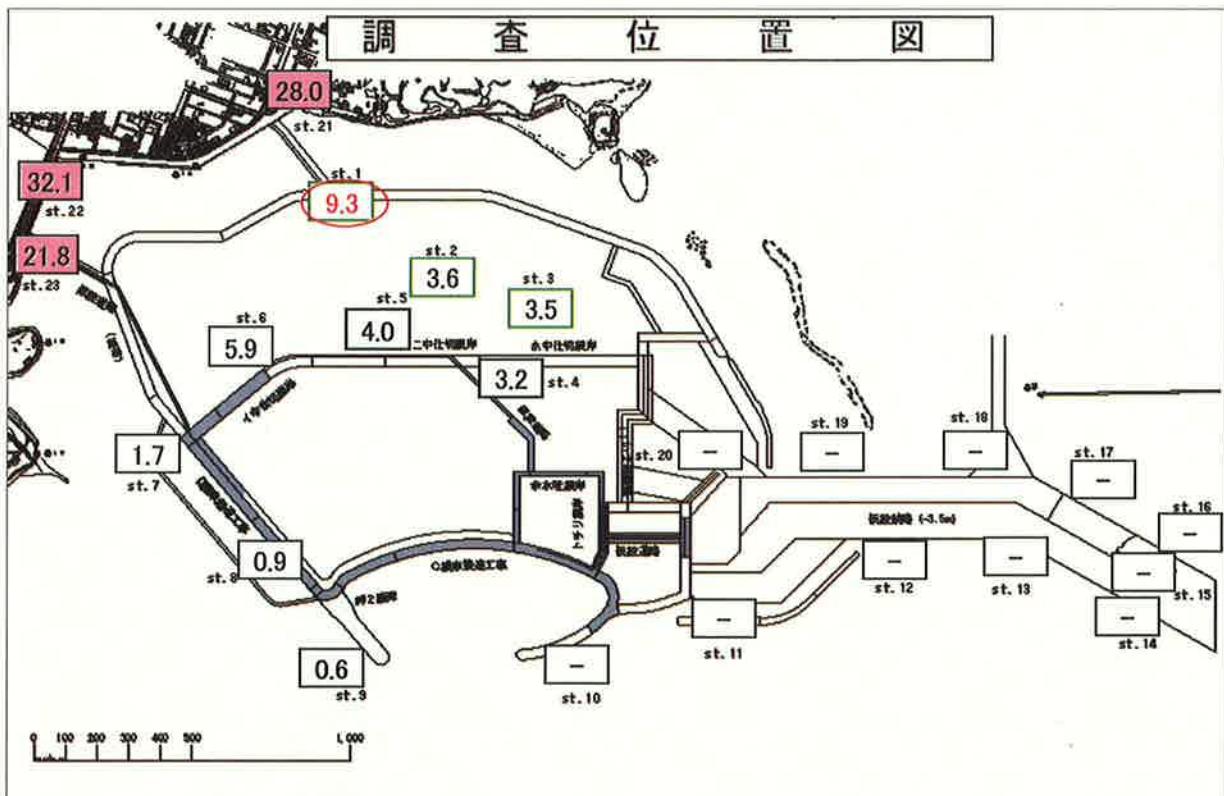
工事の状況	イ中仕切工事	裏埋材投入・均し
	D護岸工事	裏埋材投入・均し
	二中仕切工事	裏埋材投入・均し
数値基準を超過した調査区域の状況		
St.1付近において白濁が見られた。		

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 調査地点の水深は浅く(0.7m)、西ないし南西の風が強かつたことから、風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 27 日 (金) 10:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	SSW	3	上げ潮	



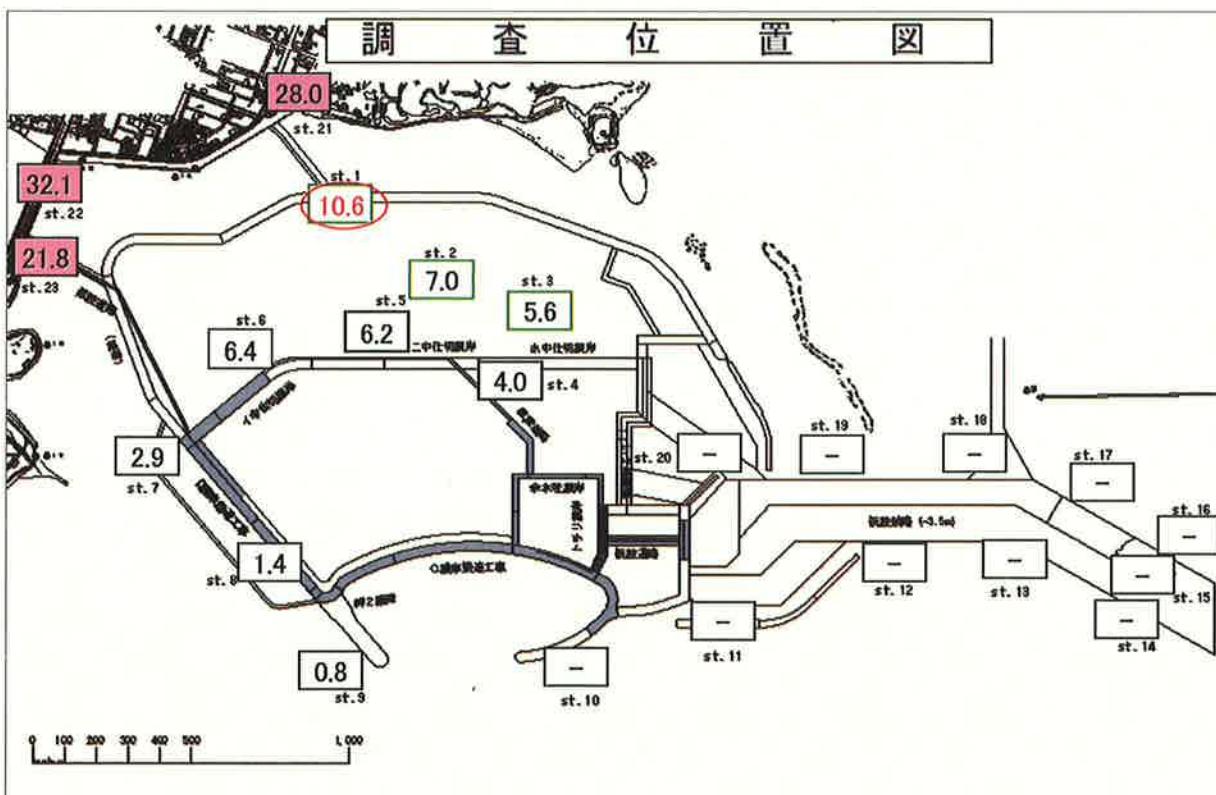
- st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
- 濁り(SS)監視基準
- クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L
 - 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
(st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	裏埋材投入・均し		
	D護岸工事	汚濁防止膜設置		
	二中仕切工事	裏埋材投入・均し		
数値基準を超過した調査区域の状況				
St.1付近において白濁が見られた。				
評価				
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 基準値を超過した要因は昨日から今朝に強い降雨(34mm)があり、St.1の塩分濃度も低いことから流入部からの流れ込みが影響していると考えられる。				

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 27 日 (金) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	S	4	下げ潮	



- st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
- 濁り(SS)監視基準
- クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L
 - 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
(st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

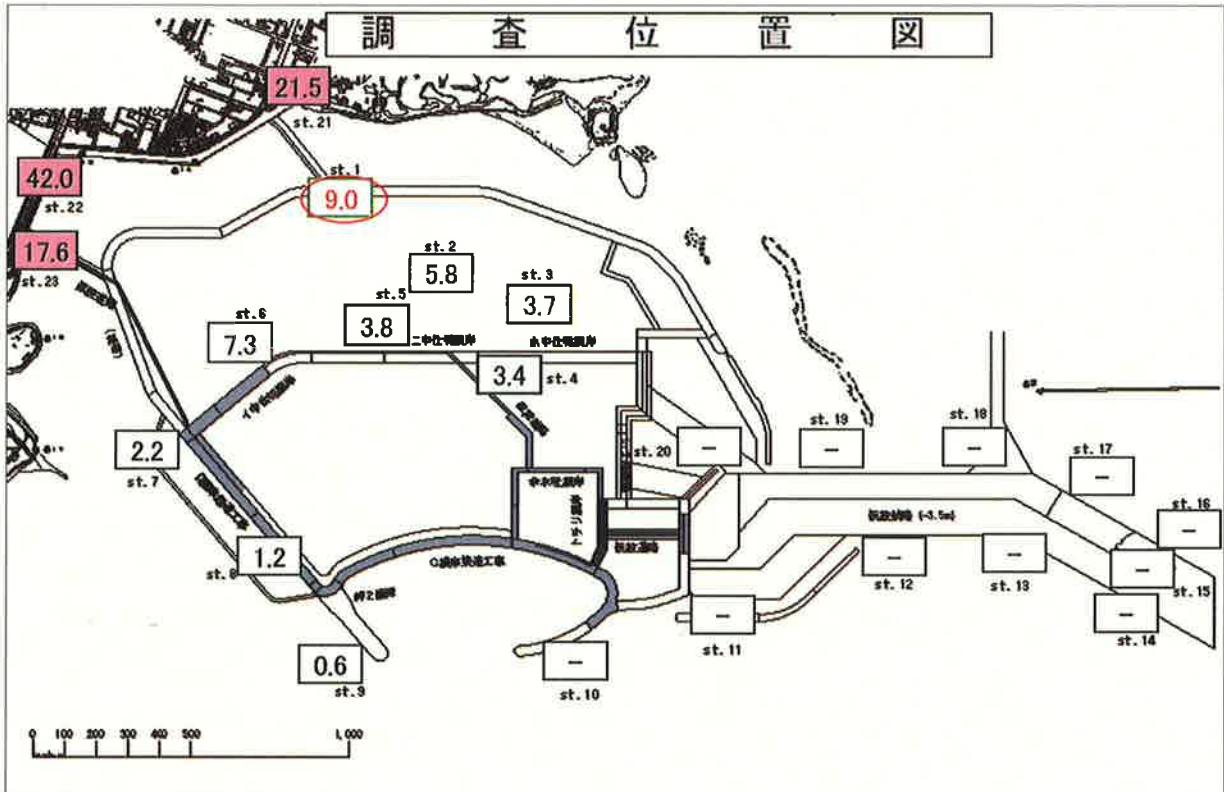
工事の状況	イ中仕切工事	裏埋材投入・均し		
	D護岸工事	汚濁防止膜設置		
	二中仕切工事	裏埋材投入・均し		
数値基準を超過した調査区域の状況				
St.1付近において白濁が見られた。				

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 基準値を超過した要因は昨日から今朝に強い降雨(34mm)があり、St.1の塩分濃度も低いことから流入部からの流れ込みが影響していると考えられる。 また、南の風が強かったことから、風により発生した波が底質を巻き上げたこともひとつの要因と考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 28 日 (土) 10:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	S ~ SSW	3	上げ潮	



- st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
- 濁り(SS)監視基準
- クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L
 - 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L
 - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
(st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	作業はなし
	D護岸工事	作業はなし
	二中仕切工事	作業はなし

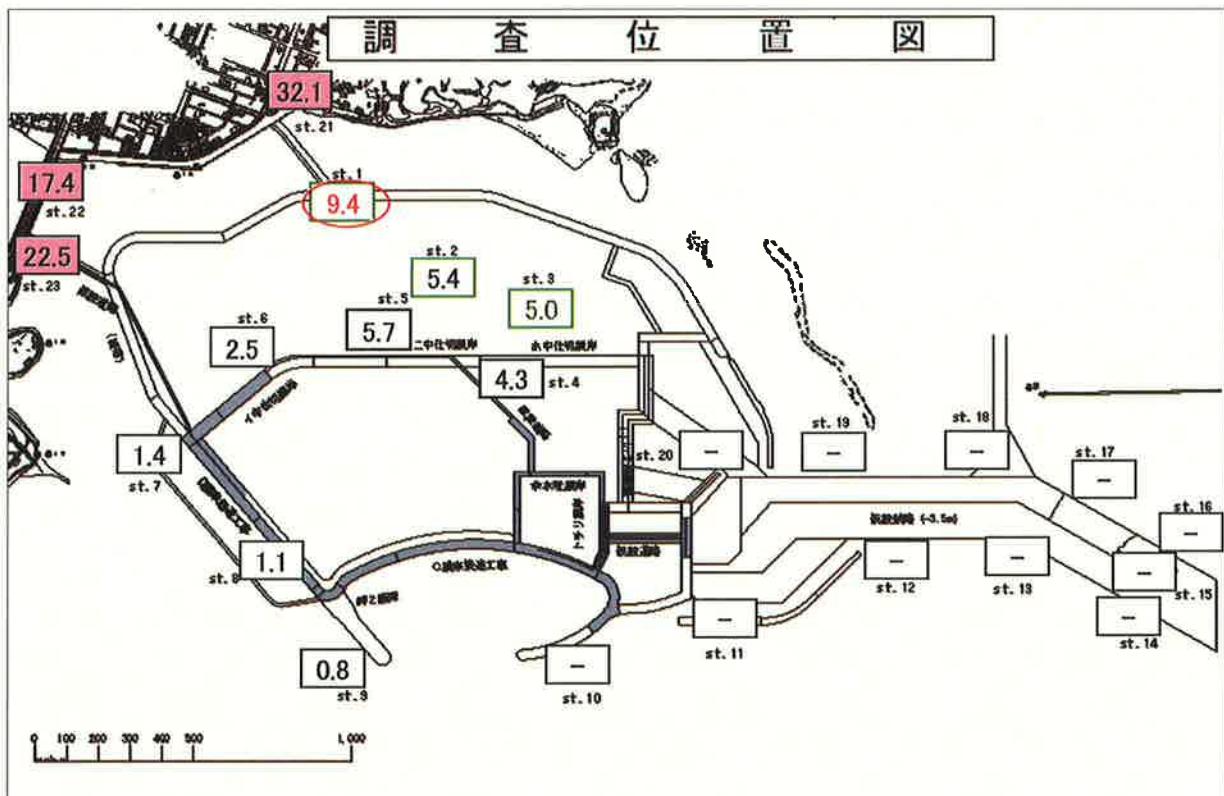
数値基準を超過した調査区域の状況
St.1付近において白濁が見られた。

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 調査地点の水深は0.3mであり、南ないし南南西よりの風が強かったことから、風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。 また、一昨日の降雨でSt.1付近の塩分濃度が低いことから、流入部からの濁りが拡散し監視地点付近まで影響したのも、ひとつの原因と考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 28 日 (土) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	S ~ SSW	3 ~ 4	下げ潮	



st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
濁り(SS)監視基準

□ クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L

○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点

□ 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L
(st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点

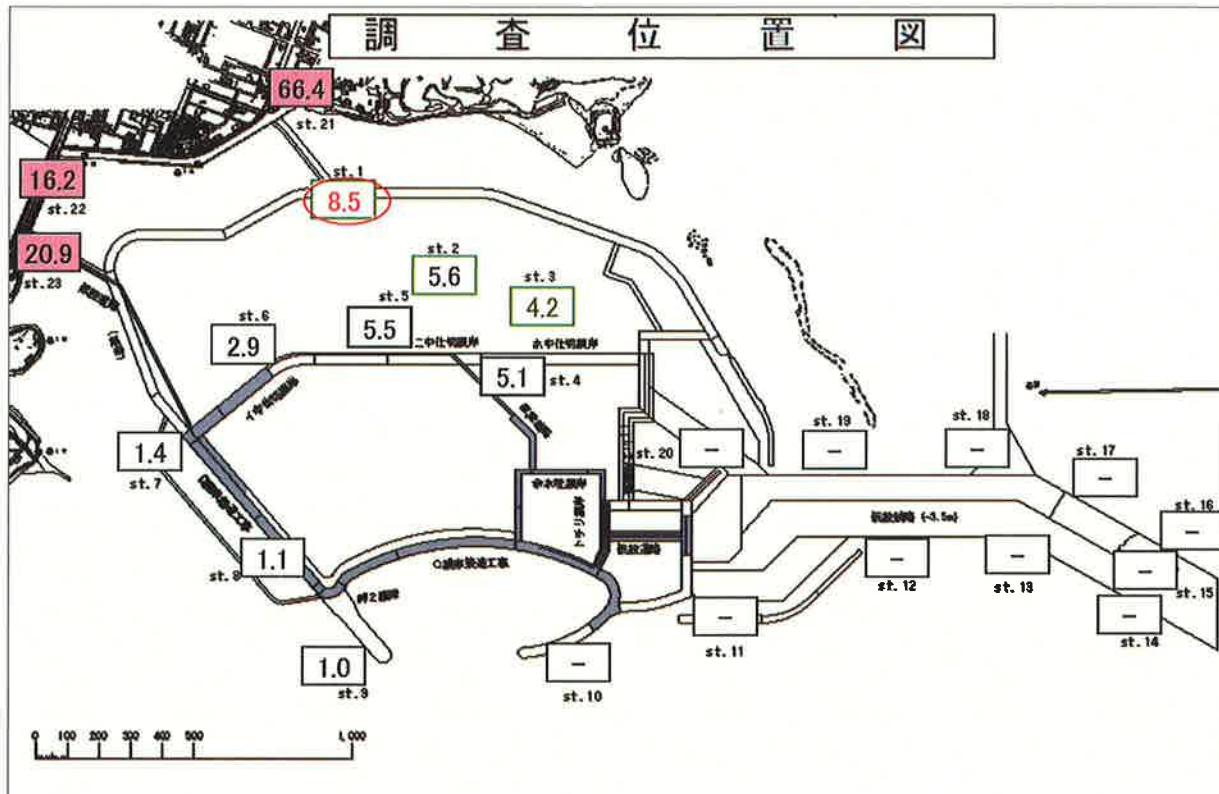
工事の状況	イ中仕切工事	作業はなし
	D護岸工事	作業はなし
	二中仕切工事	作業はなし
数値基準を超過した調査区域の状況		
St.1付近において白濁が見られた。		

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。南ないし南南西よりの風が強かったことから、強風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。また、一昨日の降雨でSt.1付近の塩分濃度が低いことから、流入部からの濁りが拡散し監視地点付近まで影響したのも、ひとつの原因と考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 29 日 (日) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	S ~ SW	2 ~ 4	上げ潮	



st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
濁り(SS)監視基準
□ クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L ○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
□ 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L ■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
 (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

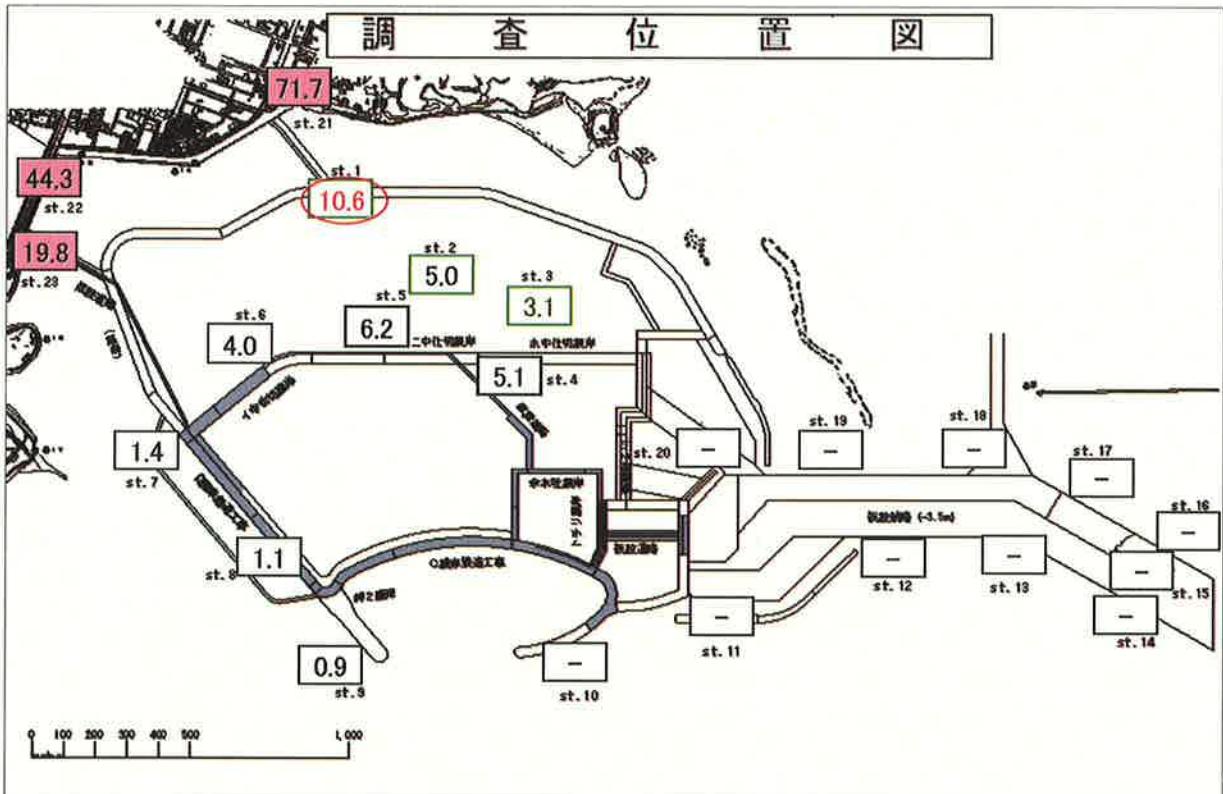
工事の状況	イ中仕切工事	作業はなし		
	D護岸工事	作業はなし		
	二中仕切工事	作業はなし		
数値基準を超過した調査区域の状況				
St.1付近において白濁が見られた。				

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 南ないし南西よりの風が強かったことから、強風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。 また、陸域(st.21)から高い濁りが確認されていることから、この濁りが拡散し影響したのも、ひとつの原因と考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 20 年 6 月 30 日 (月) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	NE	3 ~ 4	上げ潮	



- st.10～st.20は浚渫作業開始日より測定予定
 濁り(SS)監視基準
■ クビレミドロ監視地点 st.1～3 7mg/L ○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
□ 工事の濁り監視地点 st.4～20 11mg/L ■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
 (st.21、22、23は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	作業はなし
	D護岸工事	作業はなし
	二中仕切工事	作業はなし

数値基準を超過した調査区域の状況
St.1付近において泡が見られた。

評価
工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。 北西よりの風が強かったことから、強風により発生した波が底質を巻き上げ、基準値を超過したものと考えられる。 また、陸域(st.21)から高い濁りが確認されていることから、この濁りが拡散し影響したのも、ひとつの原因と考えられる。